

令和 6(2024)年度金沢大学養護教諭特別別科入学者選抜試験問題

専門科目（看護学）

（注意）

- 1 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙各ページの所定欄に、受験番号を記入すること。
- 3 問題冊子は1部、解答用紙は3枚である。
- 4 解答はすべて解答用紙の指定のところに記入すること。

問題 1 感染症に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑮) にあてはまる適切な語句や数字を、解答欄に記入しなさい。

- 1) 「感染症の予防及び感染症の (①) に対する医療に関する法律」は、感染症の (②) を予防し、及びその (③) の防止を図り、(④) の向上及び増進を図ることを目的としている。
- 2) 感染症法の対象となる感染症は、1 類～5 類感染症、(⑤) 感染症、(⑥) 感染症、(⑦) 感染症に分類される。
- 3) 新型コロナウイルス感染症は、2021 年に (⑥) 感染症から (⑤) 感染症に変更、2023 年 5 月 8 日からは (⑤) 感染症から (⑧) 感染症に位置付けられ、(⑨) 把握対象疾患となった。
- 4) (⑩) 把握対象疾患では、すべての症例について (⑪) は保健所を通じ (⑫) への届出が義務付けられている。(⑨) 把握対象疾患は、指定医療機関で診断された症例について医療機関は保健所を通じて (⑫) へ届出の義務がある。
- 5) 結核は (⑬) 類感染症、梅毒は (⑭) 類感染症、腸管出血性大腸菌感染症は (⑮) 類感染症である。

問題 2 診療情報に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑮) にあてはまる適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

- 1) 個人のプライバシーの保護と適切な管理のために、OECD 8 原則では (①) の原則、(②) の原則、(③) の原則、(④) の原則、(⑤) の原則、(⑥) の原則、(⑦) の原則、(⑧) の原則が示されている (①～⑧ 順不同)。
- 2) 診療情報の開示請求は、原則として (⑨) に限られるが、例外として (⑩)、患者から代理権を付与されている者等も開示請求できる。
- 3) 「医療従事者による十分な説明と同意」を示す (⑪) は、1964 年の (⑫) 宣言で提唱された。(⑪) は、患者の (⑬) と自己決定権を尊重している。
- 4) 保護者の (⑭) のもと、小児が入院や治療について理解できるように説明し、小児から (⑭) を得ることを (⑮) という。

問題 3 フィジカルアセスメントに関する以下の文章を読んで、(①) から (⑩) にあてはまる適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

- 1) 腹部のフィジカルアセスメントは、腸蠕動音や痛みの影響を避けるために (①) 診→(②) 診→(③) 診→(④) 診の順で行うことが望ましい。
- 2) 腹部を触診した際に、腹壁が病的に著しく緊張する状態を (⑤) という。急性虫垂炎では腹壁に (⑤) が生じ、(⑥) を圧迫すると痛みが強くなる (⑦) (反跳圧痛) がみられる。
- 3) 腹部の打診では (⑧) 音と (⑨) 音に注意をする。腹部全体が (⑧) 音である場合は、腸管内にガスが充満している可能性がある。
- 4) 脊柱の触診は、脊柱の位置や形状が観察しやすくなる (⑩) 姿勢で行う。

問題 4 呼吸器に関する以下の 1)、2) に答えなさい。

- 1) 以下の文章を読んで、正しいものには○、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。
 1. 右葉には 2 本の葉気管支がある。
 2. 気管分岐部の位置は背側では第 4～5 胸椎に一致する。
 3. 気管支動脈は肺循環に属する。
 4. 1 回換気量には、ガス交換が行われない死腔換気量も含まれる。
 5. 呼気時には横隔膜が収縮し胸腔内圧は上昇する。
- 2) 誤嚥性肺炎が右肺で起こりやすい理由を解剖学的観点から説明しなさい。

問題 5 次の文章を読んで、() にあてはまる適切な語句や数字を記入しなさい。

- 1) 正常な妊娠では、胎盤が完成されるのは妊娠 (①) 週である。
- 2) 正常に経過している妊娠 36 週の妊婦が、次に妊婦健診を受診する時期として推奨されるのは (②) 週間後である。
- 3) 妊娠 36 週の妊婦に NST (non-stress test) のため分娩監視装置を装着する場合、妊婦の体位は (③) とする。
- 4) 多胎妊婦の母体側の合併症として、(④)、(⑤) 等があげられる。

問題 6 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

Y ちゃん (生後 3 週、男児) は、在胎週数 39 週 2960 g で出生した。生後 5 日で退院し、退院時の体重は 2950 g であった。完全母乳であったが 5 日前から哺乳のたびに噴水様に嘔吐するようになった。来院時は機嫌が悪くぐったりしている。

身体所見：体重 3230 g、体温 37.2°C、脈拍 120/分 (整)、血圧 72/50mmHg、大泉門陥没、皮膚のツルゴール低下、上腹部に腫瘤を触知

検査所見：白血球 9,700/ μ L、Na 132mEq/L、K 3.5mEq/L、Cl 86 mEq/L、CRP 0.1mg/dL

- 1) Y ちゃんの現在の状態として正しいものを全て選び解答欄に記入しなさい。
 1. 代謝性アシドーシスである。
 2. 軽度の脱水がある。
 3. 非胆汁様嘔吐である。
 4. 炎症反応の上昇はみられない。
- 2) Y ちゃんの現在までの体重増加についてアセスメントしなさい。
- 3) 肥厚性幽門狭窄症の診断で絶飲食となり経鼻胃管が留置された。硫酸アトロピンによる保存療法を行った。看護として適切でないものを全て選び解答欄に記入しなさい。
 1. 頻回な浣腸により腸管内容物を除去する。
 2. 排尿量を測定する。
 3. 経鼻胃管は自然開放とする。
 4. 嘔吐が続く間は安静のため抱っこを控えるよう母親に説明する。
- 4) 嘔吐が消失し授乳が再開となった。適切なものを全て選び解答欄に記入しなさい。
 1. 授乳量を正確に把握するため人工乳とする。
 2. 自律授乳とする。
 3. 授乳前に浣腸する。
 4. 授乳前後に排気する。
 5. 水平に抱いて授乳する。
 6. 授乳後は左向きに寝かせる。

問題 7 以下の文章を読んで、(①) から (⑤) にあてはまる適切な語句を解答欄に記入しなさい。

- 1) パーキンソン病の主な症状は、安静時の (①)、筋固縮、無動、姿勢反射障害である。動作緩慢、すくみ足、前傾姿勢での (②) 歩行などがみられる。
- 2) レビー小体型認知症の初期症状では (③) が起こりやすく、不安や不穩の原因となる。
- 3) 円背の高齢者は胃が圧迫され、胃液により (④) を起こしやすい。症状として胸やけを訴えることがある。
- 4) (⑤) は、水痘に罹患後、知覚神経節に潜伏していたウイルスが長期間を経て再活性化し、発症する。

問題 8 以下の文章を読んで、適切なものには○、適切でないものには×を記入しなさい。

1. 結核が疑われる場合、喀痰を採取する看護師はサージカルマスクを装着する。
2. 気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患 (COPD) では、呼気が延長する。
3. 自動体外式除細動器 (AED) は、心房細動の場合、適応となる。
4. 呼吸不全とは、動脈血酸素分圧 (PaO₂) が 60Torr (mmHg) 以下をいう。
5. 気管支鏡検査を受けた成人患者では、検査の合併症として肺気腫に注意する。

問題 9 以下の文章を読んで、正しいものを2つ選びなさい。

1. 白内障が進行すると、羞明でよく見えないことがある。
2. 流行性角結膜炎の原因はヘルペスウイルスである。
3. 緑内障は治療により視野欠損が改善する。
4. 眼底検査では、散瞳薬の点眼を検査の直前に行い、検査は暗室で行う。
5. ロービジョン (Low Vision) の患者に身体障害者手帳交付の助言を行う。

問題 10 注意欠如・多動性障害 (ADHD) とはどのような障害か、日常生活で見られる行動障害を挙げて説明しなさい。

問題 11 以下の文章を読んで、適切なものには○、適切でないものには×を記入しなさい。

1. せん妄は、術後や薬剤使用により起こる意識障害であり、一時的に見当識障害が起こる。
2. 神経性過食症で過食と嘔吐を繰り返すと、低カルシウム血症で不整脈を起こす危険性がある。
3. 防衛機制のうち、反動形成とは自己の抑圧した欲求を社会的に望ましい欲求に置き換え、充足させることである。
4. ナルコレプシーでは、日中居眠りを繰り返したり、情動脱力発作が起こる。
5. 自閉症スペクトラム障害では、特定の物事に強いこだわりをもち、膨大な知識がある一方で、他者との言語的コミュニケーションが困難な傾向がある。

令和 6(2024)年度金沢大学養護教諭特別別科入学者選抜試験問題

小 論 文

(注意)

- 1 試験問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 試験問題用紙の所定欄に、受験番号を記入すること。
- 3 解答はすべて試験問題用紙の指定のところに記入すること。
- 4 下書き用紙の様式は 25 字×34 行 (850 字) である。
試験問題用紙の一行あたり字数や総字数の指定とは異なるので、考慮して使用すること。

